

JAPANESE
TABLEWEAR



和陶

時代と共に脈々と受け継がれる
古き良き日本の文化と伝統

和陶器は焼き方、柄など加飾の方法を進化させながら現代に受け継がれてきました。和柄にはそれぞれに意味や由来があり、日本人の感性と深く関わってきました。時代と共に変化する美しさがその魅力と言えます。



織部十草平鉢(大) / P.258

美濃地方伝統的な織部の盛鉢で、十草柄は職人が1本づつ線を入れて模様をつくっています。



瑠璃麻5.0皿 / P.218

『麻』は成長速度が速く、病気や害虫に強い性質をもっているため、子供の成長を願う柄として古来より使われてきました。



錦間取牡丹
八角高台5.5皿 / P.184

椿と唐草をモチーフにした八角の大皿。唐草模様は世界中で使われていますが、日本でも独自にデザインされ、江戸時代以降流行しました。